

発行所

株式会社 FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel:06-209-7678

編集発行人: 税理士 三輪 厚二 Fax:06-209-8145

法人税黒字申告割合過去最低の34.6%

Q: 法人税の調査結果が発表されたそうですが、その内容を教えてください。

A: コンピュータを使った不正や、海外取引による不正、長引く不景気に便乗した赤字仮装事例などが報告されています。

【解説】

国税庁がまとめた平成9事務年度(9年7月~10年6月)の法人税の調査結果によると、実地調査は17万4千件行われ、うち13万件から何らかの申告漏れが発見されています。このうち、仮装・隠ぺいなどの不正計算があった悪質な所得隠しは4万6千件となっています。

不正発見割合の高い業種は、バー・クラブ、パチンコ、すしと現金商売の法人が続いており、バー・クラブは昭和62年以来11年連続でワーストワンとなっています。

また、黒字申告割合は34.6%と前年を更に下回る史上最低の記録を更新しています。ただし、この中には相当数の仮装赤字法人も含まれており、5万5千件実施された赤字法人調査のうち、9千件が調査の結果黒字に転換しています。

ここ数年目立つ不正の手口は、コンピュータを利用したものが多く、今回も、コンピュータを利用し特定のコード番号を設定して売上を除外していた事例が報告されています。

